



見たい! 知りたい! ブラウザーの向こう側

いつも何気なくインターネットを使っているけれど、ホームページの制作現場やインフラ関係の工事など、その舞台裏は意外と知られていないもの。このコーナーではあまり見る機会のない現場の様子を紹介いたします。

インターネットマガジン編集部
撮影 / 中村 透



ケーブルテレビ パークシティ
<http://www.mnecatv.co.jp/>

武蔵野三鷹ケーブルテレビ株式会社
東京都三鷹市下連雀 8-10-16
問い合わせ先
TEL 0120-508-451 (9:30 ~ 18:30)
info@parkcity.ne.jp

インターネットの 仕事場探訪

ケーブルテレビに加入すると、
インターネットができるってホント?

武蔵野三鷹ケーブルテレビ株式会社

ケーブルテレビでインターネットができる?

ケーブルテレビ(以下、CATV)に加入すると、インターネットができる……。実際にサービスを始めているCATV局も何局があるが、いまひとつその実態が分からないのではないだろうか。

CATVの場合、従来のプロバイダーを利用した接続方法と違うのは、そのCATVが受信できる地域に住んでいなければサービスを受けられないことと、物理的な回線の敷設工事が必要なことである。つまり、加入者が1人増えるたびに、新しく工事をしなければならぬのだ。

そこで今回は、昨年10月にインターネット接続サービスを開始したという武蔵野三鷹ケーブルテレビにおじゃまして、実際の工事がどのように行われているのか、うかがってみることにした。

現在100人以上が工事の順番待ち状態

現在、武蔵野三鷹ケーブルテレビのインターネット接続サービス利用者は1000人を超えるという。個人向けサービスには、ダイヤルアップIP接続(～33.6Kbps)とLAN型IPアサイン接続(～10Mbps)があり、とくに10Mbpsという超高速回線でインターネットに接続できるサービスが人気だそうだ。

加入者とCATV局の間に回線を引いているので、当然電話代はかからないし、従来の接続方法では不可能だった高速接続も可能になる。サービス開始以来、申し込みが殺到し、現在でも100人以上の人が工事の順番待ちをしているという。

1件の工事に2日以上かかることも

では、実際の工事はどのように行われているのだろうか。同社の技術部で工事業務も担

当している恩田良いさんと平松史昭さんにうかがってみた。

「通常は、線の引き込みは業者さんがやって、私たちはケーブルモデムを取り付けます。モデムまでの回線のチェックが終わると、お客様のパソコンのLANカードをチェックしてみてOKなら、モデムとLANカードをつないでおしまいです。作業としては30分くらいで済むんですけど、なかには2～3日かかる場合もありますね。」(平松さん)

工事ってそんなに時間のかかるものなの、と不思議に思ったのだが、さらに話を聞いてみてその理由が分かった。

「うちのサービス範囲は回線を通すまでで、そこから先は各自利用者の方に行ってもらおうようにしていただいているんですけど、なかなかそうはいかないのが実状ですね。

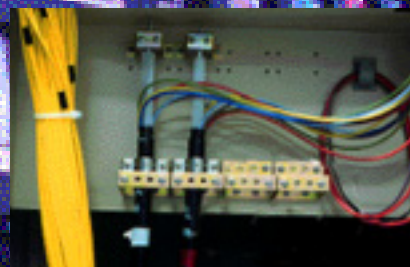
うちの場合、工事にも行きますし、設定のお話もするので、お客様も(インターネット



加入者宅にケーブルモデムを設置しているところ。



社内にあるCATV用のサーバー



左の黄色い線が通信用の光ケーブル。この束2本で武蔵野市、三鷹市の13万5000世帯分をカバーしている。

が)使えるところまで設定してほしいと思いますよね。どうしてもテレビ屋のイメージがあるので、パソコンもテレビのように電源を入れればすぐに使えると思っていらっしゃる方が多いんです。工事先で『もう、帰っちゃうのか』って怒られたこともありますよ(笑)。CATVは地域に密着したサービスなので、そのあたりをどこまでやるかというのが難しいところです。(恩田さん)

ソフトのバージョンアップを頼まれてしまうことも

たしかに、利用者側もある程度の知識は必要なので、「だれでも簡単に」というわけにはいかないのかもしれない。

事実、ここが配布している接続サービスのパンフレットには、「弊社がおこないます設置工事の範囲は、配線工事と端末接続装置の設置、及び開通チェックまでとなっております」と明記されている。しかし、それでも実際にはパソコンの使い方やブラウザーのインストール方法などを質問してくる人もいて、1件あたりの工事に時間がかかってしまうそう。なかには一太郎のバージョンアップの方法や

エクセルの使い方を教えてくれ、なんて言う人もいたという。

工事中に不審人物と間違えられた!

つい、サービス内容以上のことを期待してしまう利用者側の気持ちも分かるが、実際の担当者の苦勞も並大抵ではないはずだ。トラブルがあるたびに現場に行かなければならないので、普段からポケットと携帯電話は手放せないという。休日に呼び出されることもあるそう。

また、恩田さんたちの苦勞はそのほかにもある。

「回線をチェックするときは電柱に登ったり、屋根の上に上がったります。そこで、ノートパソコンをかちゃかちゃやりながら、線が来てるかどうか確認していたら、怪しまれたこともありました。

あと、一度加入したのに解約してほしいというお客さんがいましたね。なんでも、その方の息子さんがHなホームページを見るから困るのだそうです。『(息子が)大学に入ったら、また契約するから』って言われましたけど……」



武蔵野三鷹ケーブルテレビ株式会社 技術部 恩田良以さん(左)と平松史昭さん(右)

地元ならではのサービスを

このようなエピソードも1人1人の顔を見てサービスできる地域密着型の仕事ならではの、恩田さんによると、工事をしに行った家の人の顔はだいたい覚えていてという。なかには、友達になってしまう場合もあるそう。

CATVによるインターネット接続サービスはまだ始まったばかり。このような体験も、今後の貴重なノウハウになるに違いない。

快適なネットサーフィンも、現場の方々への地道な努力があるからこそ。工事に行かせていただいて、その大変さを実感しました。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp